

皆様、はじめまして。私、この4月より神川小にお世話になっております。よろしくお願いいたします。

学校のホームページの片隅をお借りして、学校の日常を切り取ったエピソードなどを、「校長のまなざし」として不定期でお伝えしていければと思っております。

何気ない子どもとのやりとりや、ふと感じたり、思ったりしたことを、わたくしのまなざしで切り取った風景のように、皆様にお届けできたらと思います。

よろしかったら、お付き合いくださいませ。

『学校から電車が見えるなんて』

初めて神川小に入ってすごくびっくりしたことに、校舎の中から電車が見えたことでした。そして、とてもステキなことに、耳を澄ますと電車が通る音が聞こえます(ガタンゴトン ガタンゴトン)。

わたくし、残念ながら鉄道マニアではありませんが、それでも校舎の中から電車が見える学校には興奮冷めやらぬ状態であります。

しかし、子どもたちはというと、それほどまでに感動している様子も今のところなく(いや！まだ、このことについて話題に上げて話をしていないだけで、きっと子どもたちも内心気にしているはず。早く子どもたちと話してみなくちゃ)。

お世話になって三週間、電車が通るたびに「電車だあ」と、窓に顔をつけて見ってしまう、そんな私でありました(これって、かなり本校の自慢だと思うのです)。



この写真は校舎内から撮ったものではなく、朝の見守りの時に、横断歩道脇から撮影した写真です(すみません)。

ソメイヨシノが満開のころ、体育館わきの木に、なんの変化もなかったのに、近くを通ったAさんに尋ねてみました。

わたし:あの木はなんの木かな?

Aさん:あれも桜の木だよ。もう少しすると、きれいなピンクの花が咲くよ。

わたし:なんで、知ってるの?

Aさん:私も去年、桜が咲いたのに、どうしてあれは咲いていないだろうと不思議に思ったから。

す・す・すごい。このような返事が返ってくることなど期待せずに、偶然通りかかったAさんになんとか尋ねたら…こんな返事をいただけたとは。

今、満開の八重桜がよりステキに感じます。

